

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなまる東天満店		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 9日		2025年 2月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 2月 9日		2025年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性や家庭の状況に応じ、支援環境を整備し、支援時間を確保していること	宿題等に集中したい児童のために、他児童との仕切りを作って対応している。 なるべく送迎を短時間で終え、児童の支援にあたる時間を増やしている。	おやつを食べるスペース、学習スペースが同じであるため、別々にしたい。
2	専門性の向上に努めていること	内部研修だけでなく外部研修にも積極的に参加できるようにしている。 専門的分野について計画を立てて実施している。	職員全員が支援の立案をできているわけではない。イベントは一部の職員のみが立案している。皆で話し合いながらプログラムを考えていきたい。
3	保護者との相互理解に努めていること	保護者様や相談支援専門員を通して相互理解をしている。 6ヶ月に1回は直接会ってのモニタリングをしている。 活動の様子やプログラムでの取り組みなどを送迎の際にお伝えしている。	人事異動に際し、各家庭・各児童の利用状況について職員間の引き継ぎを徹底する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の支援プログラムが固定化していること	プログラム内容が人的依存であり、特定の職員が不在の場合実施できないことがある。	新規リニューアルに伴い、大幅に支援内容を変更するための準備を行なっている。個人個人の課題に合わせたプログラムができるようにしていく。
2	保護者支援、地域交流の少なさ	法人内の他事業所との連携によるペアレント・トレーニングの機会があったが、それ以外の保護者支援(親の会など)や地域交流の機会を設けることができなかった。	保護者会とあわせたペアレント・トレーニングを今後も用意する予定。親子イベントを含めた保護者会も行う予定。地域の交流ができるように考案中。
3	非常時の対応方法が不透明なこと	計画に基づいた避難訓練・BCP訓練を実施しているが、非常時の対応について保護者への周知が十分でない。	避難訓練は主に土日のイベントとして実施しているが、要望があれば災害のSSTも平日に実施する。保護者への結果周知に努める。